

令和8年度中央区マンション防災講習会

マンション防災、 始めてみませんか？

～知って、備える。防災の第一歩～

講師 植田芳博 （株式会社 住宅・都市問題研究所）

地震が起こるとどうなるか

熊本地震

写真：（一財）消防防災科学センター「災害写真データベース」



発生:平成 28 年4月 14 日/ 平成 28 年4月 16 日 最大震度:震度 7
最大規模:マグニチュード 4.3 死者:273 人
出典:消防庁応急対策室(平成31 年 4 月 12 日公表)

地震が起こるとどうなるか

熊本地震



壁に複数の亀裂や外壁タイルの剥離などが発生し、タイルやコンクリートの落下による二次災害を防止するための対策を講じる必要がありました。

地震が起こるとどうなるか

熊本地震



私のマンションでは、地震によりエレベーターが停止しました。エレベーター会社に連絡が殺到していたため、私のマンションを含めマンションの多くは復旧に1週間程度かかりました。



中央区の被害想定

■ 都心南部直下地震

震 度	6強 一部 7
気象条件	冬の平日12・18時風速8m/秒

規 模	マグニチュード7.3
発生確率	南関東地域で発生する M7程度の地震 今後30年以内に70%

事 項		被害想定(冬の平日風速8m/秒)	
		12時	18時
人的被害	死 者	93人	84人
	負傷者	3,249人	2,702人
避難者		50,124人	50,126人
建物全壊棟数		714棟	714棟
出火件数		12件	11件
ライフライン 支障率	上水道	45.5%	45.5%
	下水道	4.4%	4.4%
	ガ ス	30.0%	30.0%
	電 力	22.1%	22.2%
	通 信	0.9%	1.0%
エレベーター閉じ込め台数		1,094台	1,096台

ライフラインの復旧の見通し



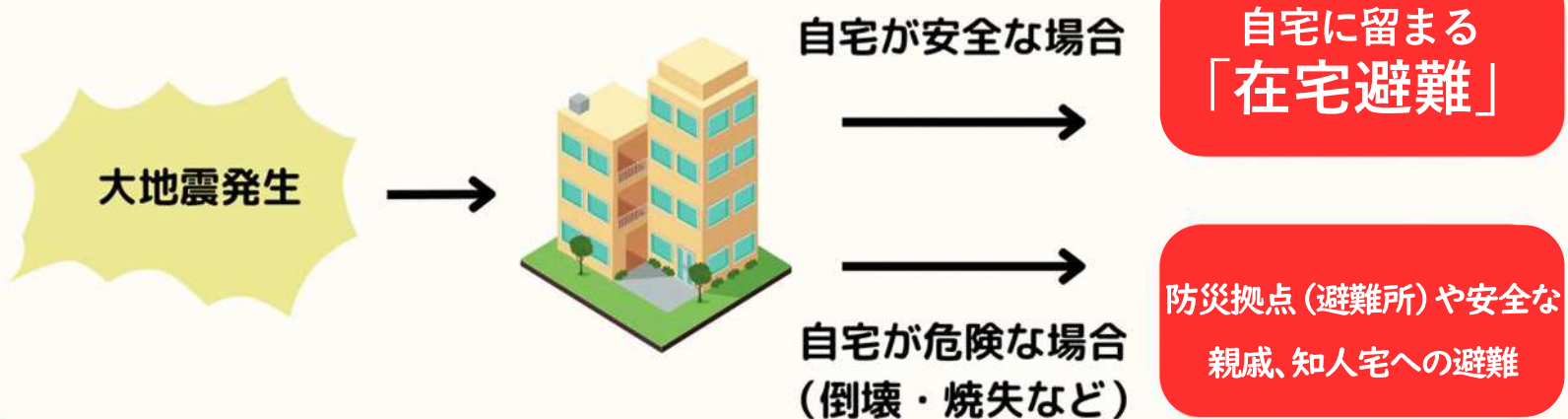
ライフライン支障率 は中央区における割合

復旧の目安 は東京都における見通し

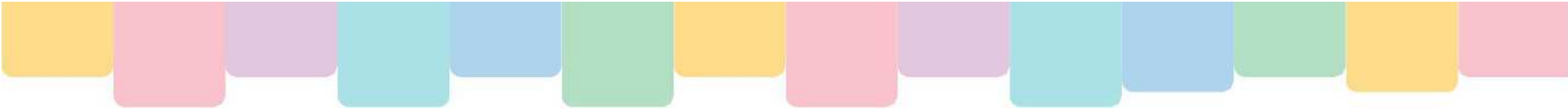
「首都直下地震などによる東京の被害想定」(令和4年5月 25 日公表)から引用

中央区では在宅避難を推奨しています

在宅避難



在宅避難は、日頃からの備えが重要です



災害時に備えて

各家庭で備えること

【自助】

ケガ



家具が倒れて下敷きになったり、割れたガラスや破片が飛び散ってケガをすることがあります。

避難障害



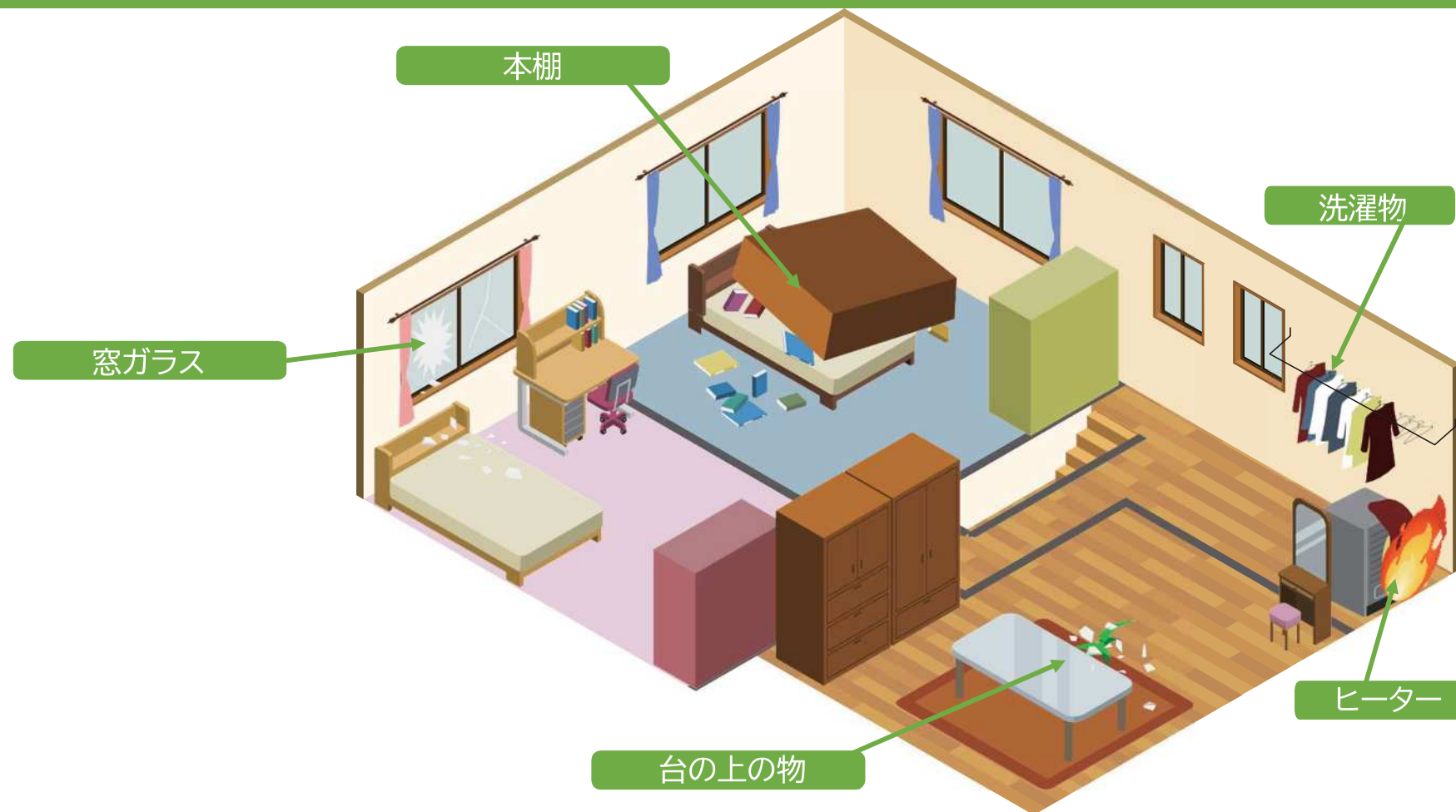
家具や家電製品
が転倒・移動して
出入口などの避
難経路がふさが
れたり、部屋に閉
じ込められるこ
とがあります。

火災

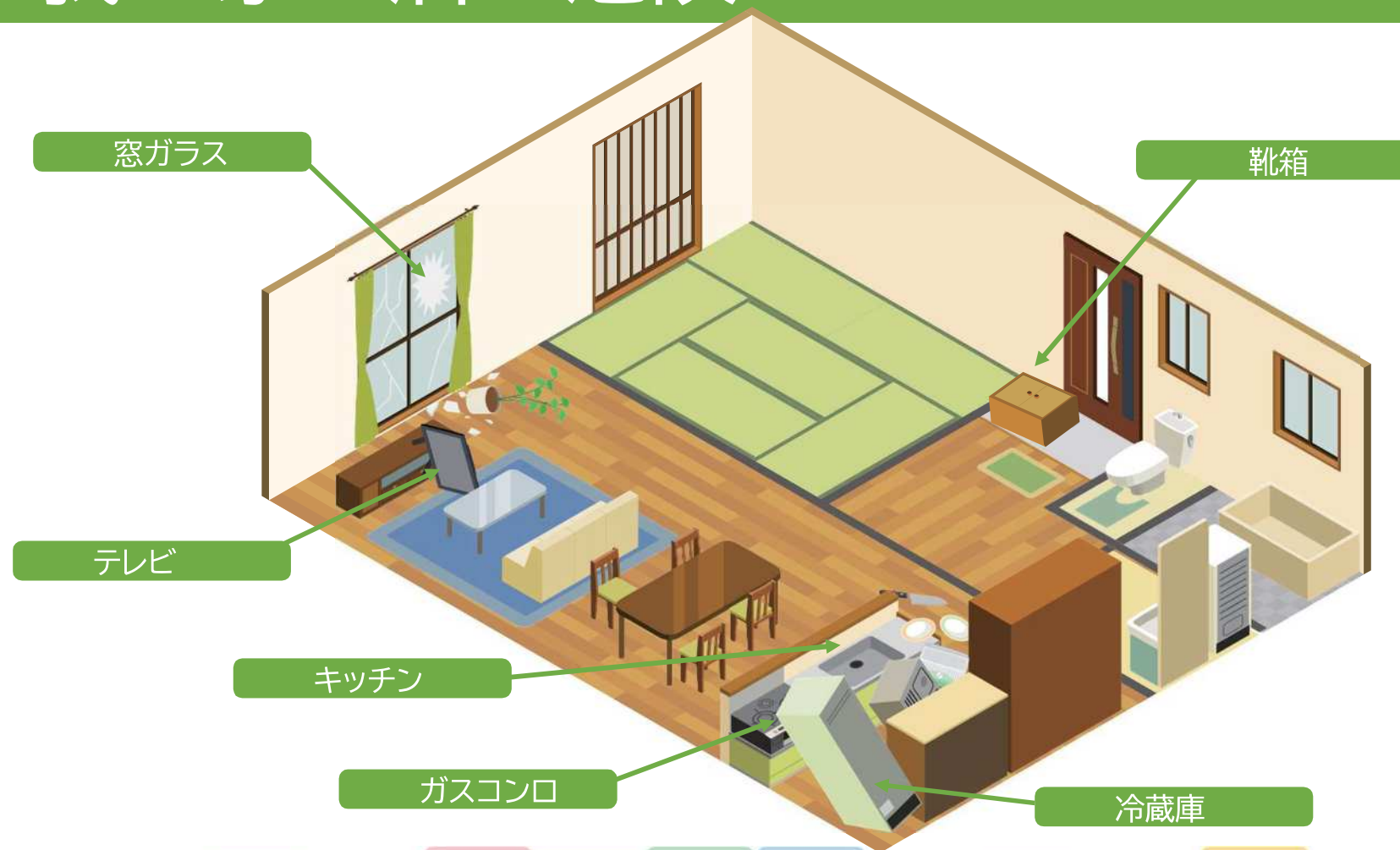


電気ストーブなどに落下した可燃物が接触して、火災が発生することがあります。

我が家に潜む危険



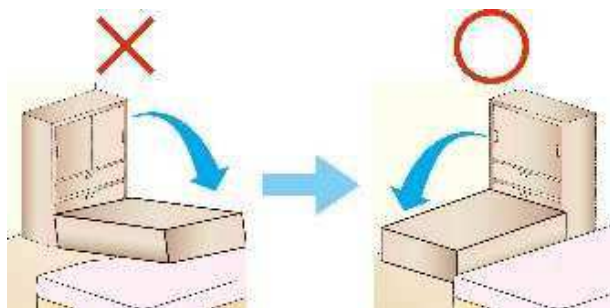
我が家に潜む危険



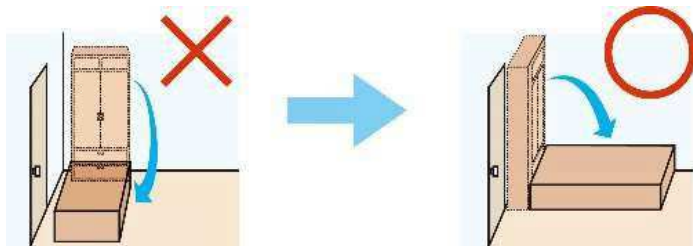
家具の転倒防止に取り組みましょう

安全な配置

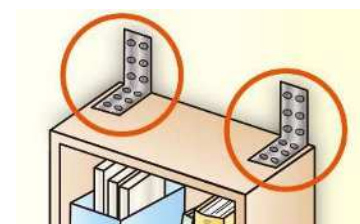
○寝る場所・座る場所に家具を置かない



○避難経路をふさがない

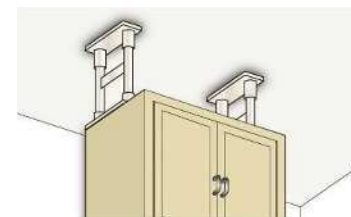


家具類の固定



〈L字金具〉

〈ポール式器具〉



〈ガラス保護〉



〈扉解放防止器具〉

水・食料・トイレの備蓄

備蓄の目安(最低3日・推奨1週間)

水



1人**1日3L** ×
家族の人数分

食料



1人**1日3食** ×
家族の人数分

携帯(簡易)トイレ



1人**1日5枚** ×
家族の人数分

「日常備蓄」がおすすめ

多めに購入



期限の近いものから
消費



常に少し多めの状態をキープ



消費した分を購入

家族との連絡と情報収集の方法の確認

家族との連絡方法の確認

音声メッセージ

□ 災害用伝言ダイヤル(171)

災害時に「171」をダイヤルし、案内に従って伝言の録音・再生をします。

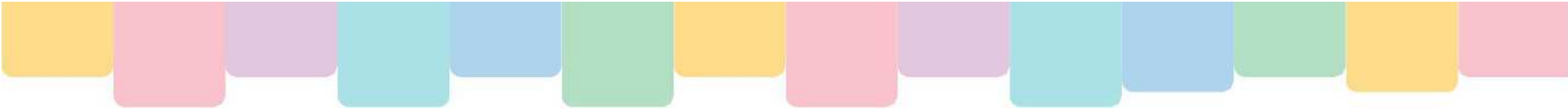
文字メッセージ

- SNS〈X(旧Twitter)・Facebook・LINEなど〉
- Googleパーソンファインダー
- 災害用伝言板〈web171〉

情報収集手段の確認

- 280MHz緊急告知ラジオ
- 中央区ホームページ
- ちゅうおう安全・安心メール
- 中央区防災マップアプリ
- 中央区公式SNS





震災時のマンションのルール

マンションで防災を 取り組む意義

震災時にルールを守らないと大変なことに！

トイレは使用しない



トイレの水は流さない



汚水の逆流などを防ぐため、水洗トイレは排水管の安全が確認できるまで使用しないでください。

トイレが使用できなくなった場合に備え、**携帯(簡易)トイレ**を備蓄しましょう。

震災時は排水ができません

震災時はトイレに限らず、全ての排水ができません。入浴や手洗いができなくなる場合に備え、ドライシャンプーや消毒液などを備蓄しておく心安心です。



エレベーターを使用しない

地震による停止や閉じ込めの危険性があります

- ❑ 震災時は、エレベーターが稼働していても、余震により停止する可能性があるため、使用しないでください。
- ❑ 管理組合から指示があるまでは、階段を使用しましょう。
- ❑ 発災時にエレベーターに乗っていた場合は、全ての行先階ボタンを押し、停止した階で速やかに降りてください。
- ❑ 災害時にエレベーターが停止した場合、長時間に渡り閉じ込められることも想定されます。エレベーター内に飲料水や簡易トイレなどを格納した防災キャビネットを設置しましょう



ごみ出しのルールを決めましょう

ごみは各戸で保管する

収集が停止した状態でごみを出し続けると、集積所にごみがあふれ、悪臭や衛生環境の悪化につながります。管理組合の指示があるまでは、ごみは各戸で保管しましょう。



ごみは分別しましょう

ごみが正しく分別されていないと、区のごみ収集が再開しても、収集が遅れる場合があります。正しく分別を行いましょう。

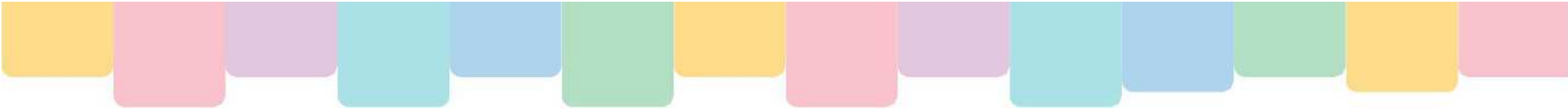


マンションの居住者同士で助け合いましょう

地震発生時は、救出・救護活動や安否確認など、居住者同士の助け合いが必要となります。

- 安否確認、救出・救護
- 建物の安全確認
- 防災拠点との連携
(救援物資の分配)
- マンションの復旧に向けた活動





災害時に備えて

管理組合の備え【共助】

～防災体制づくりの重要性～

災害時の活動の流れ

発災期

(発災～1日目)

- 集合場所への参集
- 安否確認、救出・救護
- 建物の安全確認
- 情報収集と周知

被災生活期

(2～3日目)

- 防災拠点からの情報収集
- 防災組織の充実
- 要配慮者への支援

復旧期

(4日目以降)

- 備蓄品の配布
- 防災拠点との連携
- ごみの管理
- 防火・防犯活動
- 復旧に向けた活動

安否確認、救出・救護

□ 居住者の安否確認を行い、救出・救護が必要な場合は協力して行います。

□ 住戸内の閉じ込めや家具類の下敷きになっている人の早期救出活動にもつながります。事前に安否確認体制を確認し、居住者への周知を行いましょう。



建物の安全確認

- 建物全体の損壊状況を確認します。
(管理会社の職員と連携しましょう)



- エレベーターの閉じ込めや危険箇所の把握など、建物内外の安全確認を行い、対策本部へ報告します。

- 外壁の損傷などにより危険な場所がある場合には、三角コーンや立入禁止テープを使用して、立入禁止措置を行います。



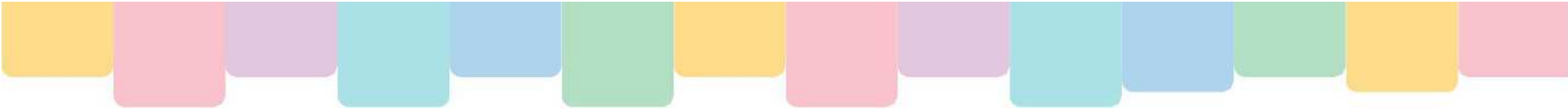
情報の周知と物資の管理

- 災害時のマンションのルールの周知や、マンションの被害状況、防災拠点からの地域の被害状況等を掲示板等を利用して、居住者へ周知します。



- マンションに備蓄している備蓄品の配布や、防災拠点へ救援物資の要請及び調達をします。





災害時に備えて

防災体制づくり

【共助】

防災組織の立ち上げ

- 居住者や管理組合役員と一緒に、防災組織立ち上げの提案をしましょう。
- 防災組織の構成や活動内容を検討しましょう。
- 居住者に防災対策について興味を持ってもらえるよう、チラシの配布や説明会の開催などで、周知しましょう。



マンションを知ろう

建物点検調査

共有スペースや設備の性能・使用方法、備蓄品などを確認します。

マンションの竣工図などをもとに、「建物点検調査シート」を作成します。

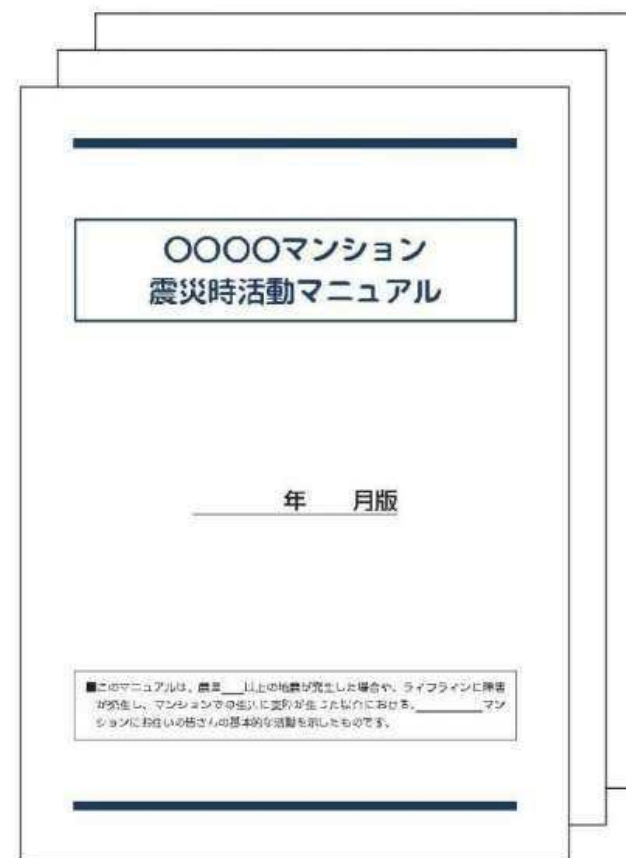
居住者アンケート

居住者アンケートの実施により各家庭で行っている防災対策などを知ること、取組の方向性も検討できます。

あわせて、居住者の防災意識の向上にもつながります。

震災時活動マニュアルを作ろう

- 防災組織の体制や活動内容などをまとめたマニュアルです。
- 震災時の行動だけでなく、平時の防災活動や備えについても記載します。



震災時アクションシートを作ろう

発災したその時に行動するための準備

発災後にやるべきことが順番に整理されているため、混乱している状況でも震災時活動マニュアルを読み込む必要がなく、素早い対応が可能となります。



防災訓練(安否確認訓練等)をしよう

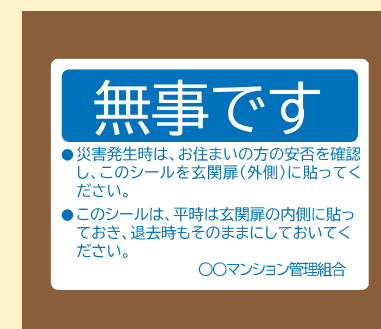
●安否確認の流れ(例)

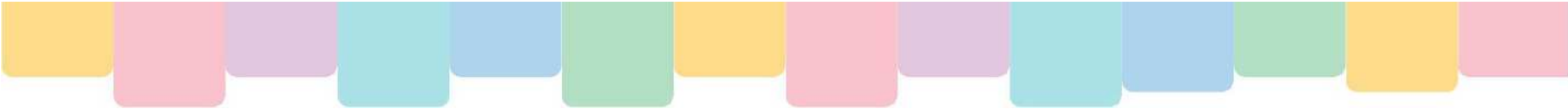
- ①地震発生後、居住者は安否確認シートを玄関扉に掲示する。
- ②防災組織の担当者がシートを確認し、掲示がない住戸へ呼びかけをする。

◎安否確認シートはあらかじめ作成し、居住者へ配布しておきます。

安否確認マグネットシート

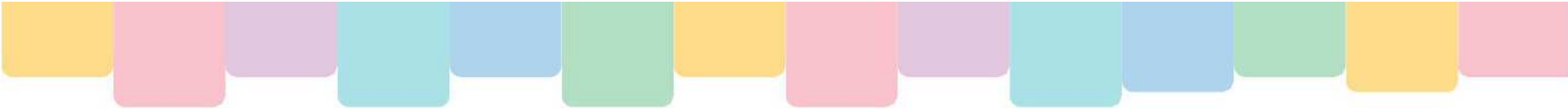
マグネットタイプの安否確認シートは、平時から玄関扉の内側に貼っておくことができます。震災時は外側(共用部側)に貼り出すことで、素早く安否確認が行えます。





事例紹介

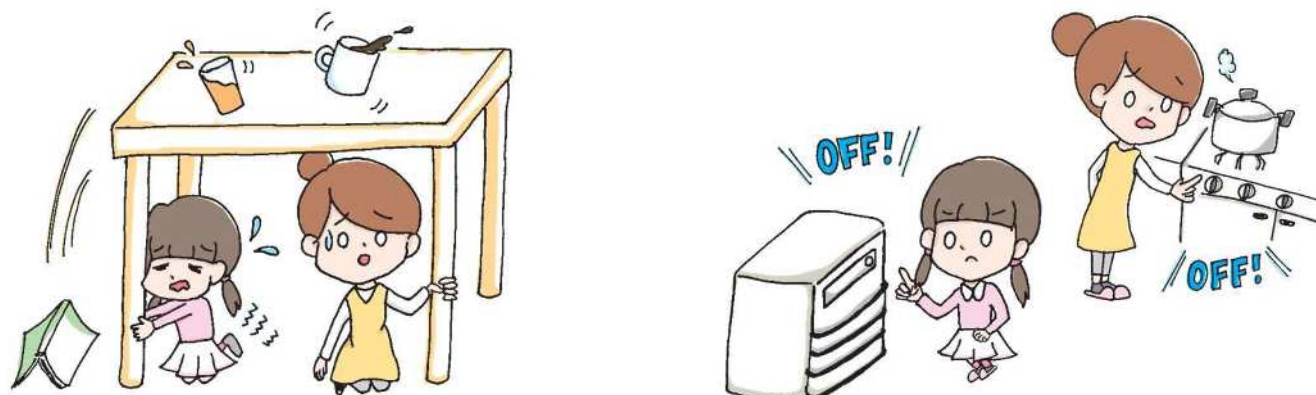
安否確認訓練を してみよう



地震が発生したら

安否確認の手順

① 自宅で身の安全を確保する



大地震が発生した時は、まず、揺れが収まるまで、自分や家族の身の安全を確保します。揺れがおさまったら、火元の確認を行います。

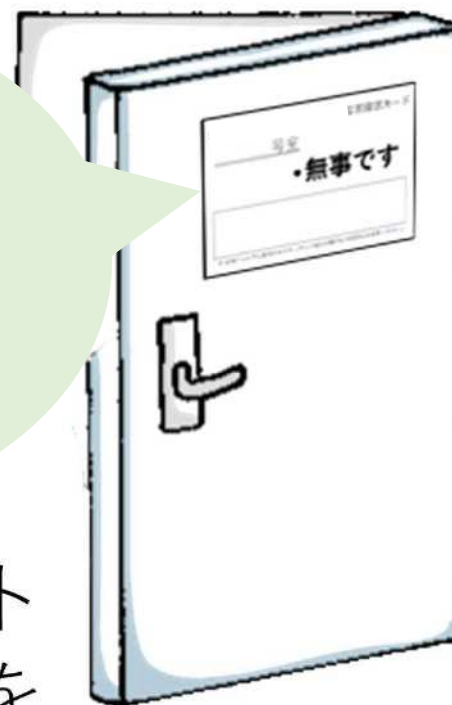
② 安否確認シートを貼り出す

■安否確認シート

号室

・無事です

※ お困りごとや心配事がありましたら上記の点線内に具体的にお書きください。



玄関扉に安否確認シートを貼り出し、安否情報を周囲に知らせます。

③ 各階の集合場所に集まる

エレベーターホール
など、各階の集合場
所に居住者が集まり、
フロアの被害状況や
役割分担を行います。



④ 各階の安否確認を行う

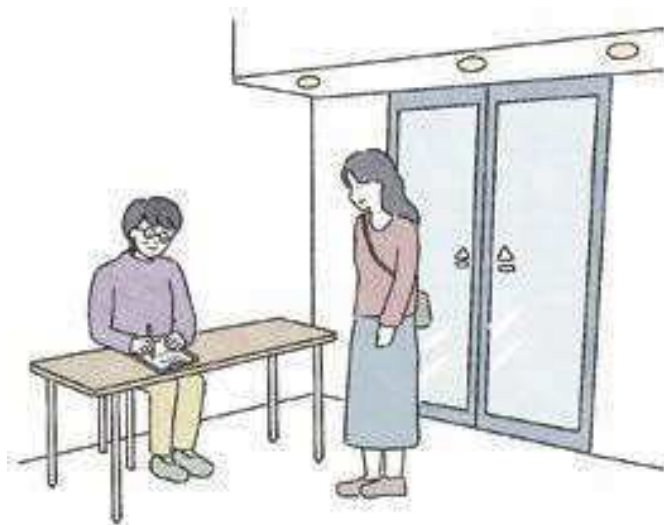


各住戸の玄関扉に貼り出された「安否確認シート」を確認し、結果をまとめます。

安否不明の住戸は、ドアをノックするなどにより安否を確認します。



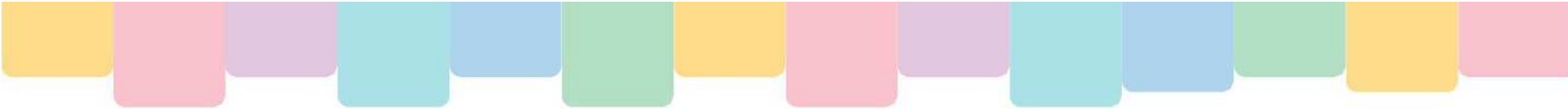
⑤ 各階の情報を対策本部に報告する



各階の安否情報をまとめて（階別安否情報シートに記入）、対策本部へ報告します。

※ エレベーターは使えないため、階段等を使用して、対策本部へ報告に行きます。



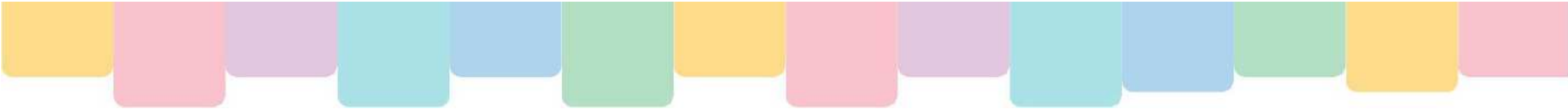


令和8年度中央区マンション防災講習会

マンション防災、後半 始めてみませんか？

～知って、備える。防災の第一歩～

講師 植田芳博 （株式会社 住宅・都市問題研究所）



居住者の防災意識の向上

防災アンケートを
実施しましょう

〇〇〇〇〇マンション

防災アンケート

〇〇〇〇〇マンションでは、防災対策を推進するために、居住者を対象としたアンケートを行います。

下記のQRコードを読み取り、アンケート（11問）の回答をしてください。

所要時間

約 10 分

【QRコード】

受付期間

〇月〇日（〇）まで

アンケートは
ここからアクセス



お問い合わせは、管理事務室まで

〇〇〇〇〇マンション 管理組合

アンケートを紙で回答する場合は
別紙の回答用紙でご回答ください。



アンケートを通じて、
震災時の行動や日頃
の防災活動の必要性
について、理解を深
めてもらうことを目
的としています。

区のHPから調査
票の見本がダウン
ロードできます。



1 地震発生時の備えについて

Q1 ご家庭の家具類転倒防止対策について

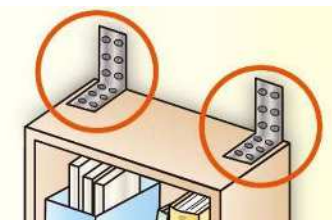


■キッチンの対策

1)冷蔵庫の転倒防止	1. やっている	2. やっていない	3. 該当なし
2)食器棚の転倒防止	1. やっている	2. やっていない	3. 該当なし
3)食器棚のガラス飛散防止	1. やっている	2. やっていない	3. 該当なし
4)食器棚の収納物の飛び出し防止	1. やっている	2. やっていない	3. 該当なし

1 地震発生時の備えについて

Q1 ご家庭の家具類転倒防止対策について



■リビングや寝室の対策

5)テレビの転倒防止	1. やっている	2. やっていない	3. 該当なし
6)本棚などの転倒防止	1. やっている	2. やっていない	3. 該当なし
7)本棚などのガラス飛散防止	1. やっている	2. やっていない	3. 該当なし
8)本棚などの収納物の飛び出し防止	1. やっている	2. やっていない	3. 該当なし

1 地震発生時の備えについて

Q1 ご家庭の家具類転倒防止対策について



■ケガ防止のための備え

11) 寝室のスリッパ	1. ある	2. ない
12) 軍手	1. ある	2. ない
13) 運動靴など動きやすい靴	1. ある	2. ない

1 地震発生時の備えについて

Q2 飲料水・食料などの 備蓄について



1)飲料水(1日1人3L×3日以上)	1. ある	2. ない	3. その他
2)食料(1日1人3食×3日以上)	1. ある	2. ない	3. その他
3)携帯トイレ(1日1人5枚×3日以上)	1. ある	2. ない	3. その他
4)救急箱	1. ある	2. ない	3. その他
5)普段から必要な生活用品(人数×3日以上)	1. ある	2. ない	3. その他

1 地震発生時の備えについて

Q2 飲料水・食料などの 備蓄について



6)カセットコンロ、カセットボンベ	1. ある	2. ない	3. その他
7)給水袋やポリタンク	1. ある	2. ない	3. その他
8)懐中電灯やランタンなどの照明器具	1. ある	2. ない	3. その他
9)コンセント不要のラジオ	1. ある	2. ない	3. その他
10)携帯電話の予備のバッテリー	1. ある	2. ない	3. その他
11)人数分のヘルメット	1. ある	2. ない	3. その他

1 地震発生時の備えについて

Q3 地域の防災拠点等 についてご存知ですか。



1)近隣の防災拠点(避難所)は_____である

1. 知っている

2. 知らない

2)近隣の給水拠点は_____である

1. 知っている

2. 知らない

◇防災拠点(避難所):

災害時に自宅で生活することが困難な人が一時的に避難生活をする場所。

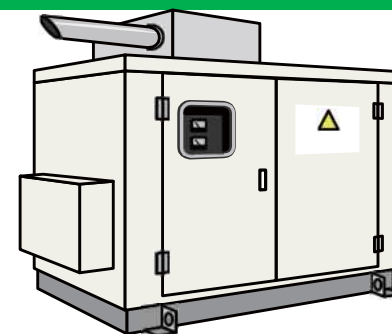
◇給水拠点(災害時給水ステーション):

災害時に水を配る場所。水を入れる容器は各家庭で準備しておく必要があります。
区内には、**晴海給水所**、**あかつき公園**、**堀留児童公園**の3か所があります。

防災拠点	対象区域
城東小学校	八重洲、京橋、日本橋
京橋プラザ	銀座一丁目から四丁目の各一部、新富
泰明小学校	銀座一丁目から八丁目の各一部
銀座中学校	銀座五丁目から八丁目の各一部、築地五丁目、浜離宮庭園
中央小学校	入船一丁目・二丁目、湊一丁目・二丁目
明石小学校	入船三丁目、湊三丁目、明石町
京橋築地小学校	築地一丁目から四丁目・六丁目・七丁目
京華スクエア(1,2階)	八丁堀
明正小学校	新川
明正小学校副拠点	
常盤小学校	日本橋本石町、日本橋室町、日本橋本町一丁目・二丁目、日本橋本町三丁目・四丁目の各一部
十思スクエア	日本橋本町三丁目・四丁目の各一部、日本橋小舟町、日本橋小伝馬町、日本橋大伝馬町、日本橋堀留町
日本橋小学校	日本橋人形町一丁目・三丁目、日本橋人形町二丁目の一部、日本橋小網町、日本橋蛸殻町一丁目の一部
有馬小学校	日本橋蛸殻町一丁目の一部、日本橋蛸殻町二丁目、日本橋箱崎町、日本橋浜町三丁目の一部、
有馬小学校副拠点	日本橋中洲
久松小学校	日本橋富沢町、日本橋人形町二丁目の一部、日本橋久松町、日本橋浜町一丁目・二丁目、日本橋浜町三丁目の一部、東日本橋一丁目の一部
日本橋中学校浜町校舎(日本橋中学校改築期間中)	日本橋馬喰町、日本橋横山町、東日本橋一丁目の一部、東日本橋二丁目・三丁目
阪本小学校	日本橋茅場町、日本橋兜町
佃島小学校	佃、月島一丁目の一部
佃中学校	
月島第一小学校	月島一丁目の一部、月島二丁目から四丁目
月島第一小学校副拠点	
月島第二小学校	勝どき一丁目から四丁目
月島第二小学校副拠点	
月島第三小学校	晴海一丁目・二丁目
晴海中学校	
晴海西小学校・晴海西中学校	晴海三丁目から五丁目
豊海小学校	勝どき五丁目・六丁目、豊海町

1 地震発生時の備えについて

Q4 マンション内の防災対策についてご存知ですか。



1)非常用発電機がある

1. 知っている

2. 知らない

2)エレベーターは大きな揺れで、最寄り階に停止する

1. 知っている

2. 知らない

3)エレベーター内に防災キャビネットがある

1. 知っている

2. 知らない

4)防災倉庫がある

1. 知っている

2. 知らない

5)消火器、消火栓の位置

1. 知っている

2. 知らない

2 地震発生直後について

Q5 大きな地震が発生した際の行動についてご存知ですか。



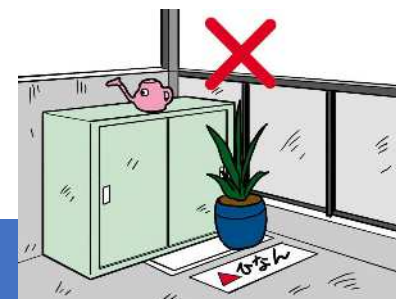
■地震発生時の行動

- | | | |
|-------------------------------------|----------|---------|
| 1)中央区は、自宅での生活を継続する「在宅避難」を推奨している | 1. 知っている | 2. 知らない |
| 2)断水していない場合でも、トイレの水を流してはいけない | 1. 知っている | 2. 知らない |
| 3)エレベーターは閉じ込めの危険があるため、使用しない | 1. 知っている | 2. 知らない |
| 4)行政のごみの収集が再開されるまでは、各家庭のごみは各住戸で保管する | 1. 知っている | 2. 知らない |

2 地震発生直後について

Q5 大きな地震が発生した際の行動についてご存知ですか。

■火災が発生した場合



1)バルコニーから隔板を破って隣家に避難できる

1. 知っている 2. 知らない

2)一部のバルコニーから避難ハッチで下の階に避難できる

1. 知っている 2. 知らない

3)避難経路確保のためバルコニー、廊下には何も置いてはいけない

1. 知っている 2. 知らない

2 地震発生直後について

Q6 家族の中で連絡方法や
集合する場所を
決めていますか。



1)家族との連絡方法

1. 決めている

2. 決めていない

2)災害用伝言ダイヤル(171)の使い方

1. 知っている

2. 知らない

3)連絡できない場合に集合する場所

1. 決めている

2. 決めていない

居住者の属性・意向 の把握

- ・ 災害時要援護者
- ・ 手助けの必要性
- ・ 専門家(医療・建築)
- ・ 防災活動への参加等

【回答者属性】 回答データの分析のため、ご回答いただいた方の属性について教えてください。

Q 7 お住いのフロアについて教えてください。

Q 8 お住まいの方の年齢を教えてください。(該当するものをすべてを選択)

1. 未就学児	2. 小学生	3. 中学生～19歳	4. 20～29歳
5. 30～39歳	6. 40～49歳	7. 50～59歳	8. 60～69歳
9. 70～79歳	10. 80歳以上		

Q 9 平日昼間の主な在宅状況について教えてください。(口中に在宅の方すべてを選択)

1. 小学生	2. 中学生～17歳	3. 成人
4. 高齢者・乳幼児など(災害時要配慮者)	5. だれもいない	

Q10 震災時に避難の手助けなどを必要とされますか？(複数回答可/該当箇所に「○」)

1) 高齢者がいるので、避難するときに手助けをしてほしい	☐
2) からだの不自由な者がいるので、避難するときに手助けをしてほしい	☐
3) 放課後の時間帯など、子どもだけになる時間帯があるので気にかけてほしい	☐
4) 日本語だけでは詳しい情報が伝わらない時があるので、多言語で対応してほしい	☐
5) その他()	☐

○を付けた方は、震災時に手助けをしてほしいことの内容をご記入ください。

Q11 震災時に対策本部に協力いただけることはありますか？(複数回答可/該当箇所に「○」)

1) 住んでいるフロアでの安全確認や対策本部への連絡	☐
2) からだの不自由な方への介助(介護福祉士など)	☐
3) 救護(医師、看護師、医療関係者、元医師、元看護師など)	☐
4) 建物被害の把握(建築技術者など)	☐
5) 外国人居住者への翻訳係(通訳可能な言語:)	☐
6) 他にも何かできることがあれば協力したい	☐
7) その他()	☐

※ マニュアルの完成後、改めて協力のお断いをする可能性がありますので、ご協力お願いします。

★上記 Q11 にご回答いただいた方は、部屋番号とお名前をご記入ください。

⇒ 部屋番号: 号室 お名前:

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

〇〇〇〇〇マンション

防災アンケート

〇〇〇〇〇マンションでは、防災対策を推進するために、居住者を対象としたアンケートを行います。

下記のQRコードを読み取り、アンケート（11問）の回答をしてください。

所要時間

約 10 分

【QRコード】

受付期間

〇月〇日（〇）まで

アンケートは
ここからアクセス



お問い合わせは、管理事務室まで

〇〇〇〇〇マンション 管理組合



アンケートを紙で回答する場合は
別紙の回答用紙でご回答ください。



☆ このアンケートは、地震発生時からの時間の流れに沿った順番で構成しています。
アンケートに回答しながら、防災への理解を深めて頂けると幸いです。

【ステージ1】 地震発生時の備えについて

Q1 ご家庭の家具類転倒防止対策について

■キッチンの対策			
1) 冷蔵庫の転倒防止	1. やっている	2. やっていない	3. 該当なし
2) 食器棚の転倒防止	1. やっている	2. やっていない	3. 該当なし
3) 食器棚のガラス飛散防止	1. やっている	2. やっていない	3. 該当なし
4) 食器棚の収納物の飛び出し防止	1. やっている	2. やっていない	3. 該当なし
■リビングや寝室の対策			
5) テレビの転倒防止	1. やっている	2. やっていない	3. 該当なし
6) 本棚などの転倒防止	1. やっている	2. やっていない	3. 該当なし
7) 本棚などのガラス飛散防止	1. やっている	2. やっていない	3. 該当なし
8) 本棚などの収納物の飛び出し防止	1. やっている	2. やっていない	3. 該当なし
■家具類の配置			
9) 家具類の下敷きにならないように置き場所を工夫している	1. やっている	2. やっていない	3. 該当なし
10) 家具類が部屋の出入口をふさがないように置き場所を工夫している	1. やっている	2. やっていない	3. 該当なし
■ケガ防止のための備え			
11) 寝室のスリッパ	1. ある	2. ない	
12) 軍手	1. ある	2. ない	
13) 運動靴など動きやすい靴	1. ある	2. ない	

Q2 飲料水・食料などの備蓄について

1) 飲料水（1日1人3L×3日以上）	1. ある	2. ない	3. その他（ ）
2) 食料（1日1人3食×3日以上）	1. ある	2. ない	3. その他（ ）
3) 携帯トイレ（1日1人5枚×3日以上）	1. ある	2. ない	3. その他（ ）
4) 救急箱	1. ある	2. ない	3. その他（ ）
5) 普段から必要な生活用品（人数×3日以上）	1. ある	2. ない	3. その他（ ）
6) カセットコンロ、カセットボンベ	1. ある	2. ない	3. その他（ ）
7) 給水袋やポリタンク	1. ある	2. ない	3. その他（ ）
8) 懐中電灯やランタンなどの照明器具	1. ある	2. ない	3. その他（ ）
9) コンセント不要のラジオ	1. ある	2. ない	3. その他（ ）
10) 携帯電話の予備のバッテリー	1. ある	2. ない	3. その他（ ）
11) 人数分のヘルメット	1. ある	2. ない	3. その他（ ）

Q3 地域の防災拠点等についてご存知ですか。

1) 近隣の防災拠点（避難所）は	である	1. 知っている	2. 知らない
2) 近隣の給水拠点は	である	1. 知っている	2. 知らない

●防災拠点（避難所）：

災害時に自宅で生活することが困難な人が一時的に避難生活をする場所です。

●給水拠点（災害時給水ステーション）：

災害時に水を配る場所。水を入れる容器は各家庭で準備しておく必要があります。区内には、晴海給水所、あかつき公園、堀留児童公園の3か所があります。

Q4 マンション内の防災対策についてご存知ですか。

1) 非常用発電機がある	1. 知っている	2. 知らない
2) エレベーターは大きな揺れで、最寄り階に停止する	1. 知っている	2. 知らない
3) エレベーター内に防災キャビネットがある	1. 知っている	2. 知らない
4) 防災倉庫がある	1. 知っている	2. 知らない
5) 消火器、消火栓の位置	1. 知っている	2. 知らない

【ステージ2】 地震発生直後について

Q5 大きな地震が発生した際の行動についてご存知ですか。

■地震発生時の行動			
1) 中央区は、自宅での生活を継続する「在宅避難」を推奨している	1. 知っている	2. 知らない	
2) 断水していない場合でも、トイレの水を流してはいけない	1. 知っている	2. 知らない	
3) エレベーターは閉じ込めの危険があるため、使用しない	1. 知っている	2. 知らない	
4) 行政のごみの収集が再開されるまでは、各家庭のごみは各住戸で保管する	1. 知っている	2. 知らない	
■火災が発生した場合			
1) バルコニーから隔板を破って隣家に避難できる	1. 知っている	2. 知らない	
2) 一部のバルコニーから避難ハッチで下の階に避難できる	1. 知っている	2. 知らない	
3) 避難経路確保のためバルコニー、廊下には何も置いてはいけない	1. 知っている	2. 知らない	

Q6 家族の中で連絡方法や集合する場所を決めていますか。

1) 家族との連絡方法	1. 決めている	2. 決めていない
2) 災害用伝言ダイヤル（171）の使い方	1. 知っている	2. 知らない
3) 連絡できない場合に集合する場所	1. 決めている	2. 決めていない

【回答者属性】 回答データの分析のため、ご回答いただいた方の属性について教えてください。

Q 7 お住いのフロアについて教えてください。

_____階

Q 8 お住まい方のご年齢を教えてください。(該当するものすべてを選択)

1. 未就学児	2. 小学生	3. 中学生～19 歳	4. 20～29 歳
5. 30～39 歳	6. 40～49 歳	7. 50～59 歳	8. 60～69 歳
9. 70～79 歳	10. 80 歳以上		

Q 9 平日昼間の主な在宅状況について教えてください。(日中に在宅の方すべてを選択)

1. 小学生	2. 中学生～17 歳	3. 成人
4. 高齢者・乳幼児など (災害時要配慮者)	5. だれもいない	

Q10 震災時に避難の手助けなどを必要とされますか？(複数回答可/該当欄に「○」)

1) 高齢者がいるので、避難するときに手助けをしてほしい	
2) からだの不自由な者がいるので、避難するときに手助けをしてほしい	
3) 放課後の時間帯など、子どもだけになる時間帯があるので気にかけてほしい	
4) 日本語だけでは詳しい情報が伝わらない時があるので、多言語で対応してほしい	
5) その他 ()	



○を付けた方は、震災時に手助けをしてほしいことの内容をご記入ください。

--

Q11 震災時に対策本部にご協力いただけることはありますか？(複数回答可/該当欄に「○」)

1) 住んでいるフロアでの安否確認や対策本部への連絡	
2) からだの不自由な方への介護 (介護福祉士など)	
3) 救護 (医師、看護師、医療関係者、元医師、元看護師など)	
4) 建物被害の把握 (建築技術者など)	
5) 外国人居住者への通訳係 (通訳可能な言語 :)	
6) 他にも何かできることがあれば協力したい	
7) その他 ()	

※ マニュアルの完成後、改めて協力をお願いをする可能性がありますので、ご協力お願いします。

★上記 Q11 にご回答いただいた方は、部屋番号とお名前をご記入ください。

⇒ 部屋番号 : _____ 号室 お名前 : _____

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。